

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	TEL	820200		2998-9249	
820201		安全・安心な学校給食運営事業		保健給食課						
開始年度		昭和 39	年度	→	終了年度	年度				
		開始年度		昭和 39	年度	→	終了年度	年度		
		開始年度		昭和 39	年度	→	終了年度	年度		
②事業の概要		事業の種類			<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令		
		分野別計画・指針								
		関連・類似事業			学校教育法、学校給食法、食育基本法					
		総合計画の体系		章	教育・文化・スポーツ	節	学校教育	基本方針	健やかな体の育成	
		事業開始の背景			戦後、児童・生徒の栄養補給を目的に始まり、学校給食法の制定によって、学校給食の実施体制が法的に整えられ、各地の市町村において学校給食の実施が進んでいった。本市でも一部の学校で保護者負担で始められたが、昭和39年に学校給食センターを建設し、所沢市全校で給食が始まり、学校給食運営事業が開始された。					
③事業の内容		目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
		安全で安心なおいしい学校給食を遅滞なく児童・生徒に提供する。								
		対象(誰を、何を対象としているのか)			対象数	単位	平成 26 年度	26,765	人	
		児童・生徒及び教職員					平成 27 年度	26,713	人	
		事業の具体的な内容及び実施方法								
		①衛生管理の向上 ②児童・生徒の食に関する意識の高揚 ③学校給食の適正な運営及び家庭地域との連携 ④学校給食センターの適正な運営 ⑤学校給食の資質の向上と残食の減量 ⑥地場産農畜産物の使用の拡大 ⑦適正な食器具の研究(はしの使用拡大)								
④経費		<会計種別>	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)				
		予算現額		1,111,643	1,085,479	455,006				
		決算(見込み含む)		1,052,892	417,203					
		(非常勤特別職員)	(2.00 人)	(182.00 人)	(2.00 人)	(177.00 人)	※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
		正規職員人件費	87.11 人	759,686	75.26 人	651,752				
		事業費合計		1,812,578	1,068,955					
		財源内訳	一般財源	1,812,578	1,068,955	455,006				
			国・県支出金	0	0	0				
			その他()	0	0	0				
⑤実績		項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
		活動実績	地場産野菜使用状況	地場産野菜量/使用野菜総量	%	15	11	13	25	
			児童・生徒一人当たりの給食費	食材料費＋市経費	円	小学生 585 中学生 638	小学生 443 中学生 496	小学生 451 中学生 504	-	
⑥成果		項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
		成果指標	残食率	残食量/配食量	%	目標値	8	8	7	5
						実績	8	8	<input type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
		目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	↑どちらかをチェックしてください	
⑦改善点		(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
		親子方式調理校(柳瀬小)を開始し中学校(柳瀬中)に「はし」を提供した。小学校3年生以上の児童と保護者を対象に学校給食センターで施設見学や調理体験を行う「親子料理教室」を開催し、家庭との連携を図った。また、学校で「手打ちうどん」を取り入れた授業やそら豆・グリーンピースのさやむき、とうもろこしの皮むき、魚さばき等の体験を通じた授業を行い食育の推進を図った。なお、平成27年度の決算額から改めた。				-				
⑧評価		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	衛生管理を徹底し、安全安心な学校給食を確実に提供しながら、食育の推進を図る。				
		方向性の	次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	今後は、地場産野菜の使用を増やし安全安心な学校給食を確実に提供しながら、食育の推進を図る。				
		(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
		新たな地場野菜生産農家と協議し、納入を検討中である。また、28年度より環境・資源保護の意識を高めることを目的とし牛乳パックのリサイクルに取り組んでおり、順調に進んでいる。リサイクルへの理解を深めるため、リーフレットを作成し家庭へ配布した。				衛生管理マニュアルにそって衛生管理を徹底し、安全安心な学校給食を確実に提供しながら、生きた教材としての給食を活用し食育の推進を図る。				
		評価日	H28.8.19	評価者職氏名	保健給食課長 川上 一人					
⑨環境影響		有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成、自動車の使用		規制を受ける環境法令等	有	
								緊急事態	有	